学校番号	1006

令和８年度　数学科

教科	数学	科目	生活数学	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書							
副教材等	数研出版　最新　数学Ａ　、数研出版　パラレルノート　数学Ａ　（前年度購入）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・授業では、課題に対して、自ら考え、周りの人と協働で考える活動を行います。
・「課題を理解する→結果を予想する→解決の方向を構想する→解決する→解決の過程を振り返ってよりよい解決を考える」といった一連の過程で、自分の考えを発表したり、議論したりする数学的活動を行います。
・授業中については板書を書き写すだけではなく、授業のポイントや自身で気付いたことやクラスメイトの発言した内容などをノートの枠外に記入していきましょう。
・生活の中で数学を生かすことの良さに気づき、日常生活において数学の考え方を意識するようにしましょう。

2　学習の到達目標

これから社会生活を過ごすうえで，基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り，数学と社会生活の関係について認識を深め，事象を数学的に考察する能力を培い，数学のよさを認識できるようにするとともに，それらを活用する態度を育てる。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	社会人として必要な算数・数学の基礎的な事柄が処理できる。 数学と日常生活の関連性が深い事象を知る。例えば等差数列の考え方を理解し、公式を使って値を求めることができたり、また表計算ソフトを使った数値計算や、グラフなどの作成ができたりすることを理解し，その方法を習得できる。	数学的な視点で考えると，日常生活に潜んでいる数学がたくさんあることを考察する。また数値をグラフ化して、いろいろな事象の性質や傾向をつかみ、今後の方針を検討するなど、判断力や表現力を身に付けている。	社会人として日常生活に数学が潜んでいることに興味をもち、その有効性を感じ、探究しようとする姿勢で取り組む。周りの生徒とお互い意見を出し合いながら、認め合ったうえで、物事に取り組もうとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	割合と確率	1. 確率の社会生活 2. 割合とその応用	a: 期待値の定義を理解し，確率の性質などに基づいて期待値を求めることができる。 b: 反復試行の確率を，具体的な例から直観的に考えることができる。社会生活で利用されている割合について考察することができる c: くじ引きの確率が，引く順番に関係なく等しくなることに興味をもつ。	定期考査 小テスト	定期考査 提出ノート	提出ノート レポート 振り返りシート
	平面図形	1. 三角形の性質 2. 円の性質 3. 社会の中の図形	a:三角形の性質や円と四角形の関係など、基本的な性質を理解し、具体的な問題を処理できる。 b: 図形の性質や定理について論理的に考察し，証明することができる。適当な補助線を引いて考察することができる。 c: 図形の性質や定理の証明方法に関心をもつ。社会生活において、事象を数学的に考えようとする。	定期考査 小テスト	定期考査 提出ノート	提出ノート レポート 振り返りシート
2学期	割合を用いた表現	割合とその応用	a: 割合に関する用語の意味を理解している。割引，割増，食塩水の濃度等の計算ができる。 b: 割合を用いて表現された日常の事象や社会の事象などについて，その割合の意味を理解することができる。 c: 日常生活における割合について，数学と割合を関連つけて考えることに興味・関心をもつ。	定期考査 小テスト	定期考査 提出ノート	提出ノート レポート 振り返りシート

	整数の性質	1. 倍数と約数 2. 1次不定方程式 3. 2進法	a: 素因数分解を利用して最大公約数を求める方法を理解している。また，互いに素の意味を理解し，2 つの整数が互い素であるかどうか判定できる。1 次不定方程式の特殊解を求め，それによりすべての整数解を求めることができる。 b: 現代の記数法を古代の記数法と比較し，特徴を理解している。 c: 互除法の原理の証明に興味・関心をもつ。数学史に興味・関心をもつ。	定期考査 小テスト	定期考査 提出ノート	提出ノート レポート 振り返りシート
3学期	データの分析	1. データの整理 2. データの代表値 3. データの相関 4. 社会生活の中のデータ	a: 代表値や分散・標準偏差、相関係数の定義とその意味を理解し，定義に従ってそれを求めることができる。 b: 箱ひげ図をかき，データの分布を比較することができる。 外れ値を見いだす意義を理解している。 c: 身近な統計における代表値の意味について考察しようとする。 データの散らばりの度合いをどのように数値化するかを考察しようとする。	定期考査 小テスト	定期考査 提出ノート	提出ノート レポート 振り返りシート

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度